



月刊 **mienie**

創刊号



伊勢神宮の旅で お世話になった人々を取材

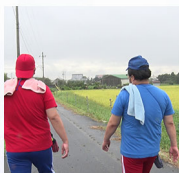
4年続いた伊勢の旅
観光名所や地元で人気のスポットとともに
多くの出会いで元気をもらった。
そこで今回は番組序盤で
特にお世話になった人たちの日常を取材。
そして新たな出会いも。



新名物キャラ登場!



昭和にタイムワープ！ 80年以上続く雑貨店
 時を経ても色あせない、粋な店主と子どもたちの笑顔



四日市市水沢地区、茶畑が広がるこの地区に昭和14年創業の雑貨店がある。その名は「かへ店」。映画「三丁目の夕日」に出てきそうな店内には、さまざまな生活用品が当時のまま置かれている。お店を守っているのは、松下巖さん（72）。僕たちは「まっつん」と呼ばせていただいている。まっつんとは2022年の夏に出会った。我々がまだ、KOC（キングオブコト）のチャンピオンを目指している頃だ。菰野町から山道を抜け一面に広がる茶畑を望みながらの旅の中で突如現れた「かへ店」。失礼な話、最初は営業しているのかと不安な気持ちでお店の扉を開けた記憶が今も残っている。その後母親交は続き、4年間の旅の中で過去4回も立ち寄りさせてもらっている。何うたひにアイスをご馳走してくれる、我々にとっては、里帰りしたような感覚になるまっつんと「かへ店」そんなお付き合いの中、再会の喜びもほどほどにこんな質問をぶつけてみた。「車で30分圏内に商業施設やコンビニエンスストアが点在する現在、お店を守る一番の理由は？」と尋ねた。するとまっつんは「駄菓子はコンビニで買えるけどかへのおぼさんはここにしかあらんやろ。」と一言。これは、今から20年ほど前、当時店主だったまっつんの母が亡くなって、店を畳むことを考えていた小生がまっつんに言った言葉。その言葉でまっつんは、このお店を守ることを決意したという。

売上よりも、子どもたちの笑顔が大事

お店の中央に置かれた駄菓子コーナー。
 「時代が変わっても子どもたちがワクワクするようなお店にしたい。」
 と語るまっつん。ここで人気商品を紹介してくれた。

第1位



カフダイ製菓 (株)
クッピーラムネ
 30円

駄菓子界のロングセラー
 清涼感ナンバーワンと
 言っても過言ではない味

第2位



ジャック製菓 (株)
ジャック サッカーズラムネ
 15円

大粒のラムネと当たりくじ
 (10円~100円までの金券)
 が入っていて当選すると、
 金額通りの好きな商品と交換ができる。

第3位



(株)やおきん
サワペーパーキャンディ
 25円

3種類の味が楽しめる
 ソフトキャンディ。
 長細いキャンディを
 どう食べるかで我々も
 盛り上がった。

かへ店 店主
 「まっつん」こと
 松下巖さん

教育・文化・経済が
 急速に変化していく昨今、
 それでも変わらない人気の駄菓子。
 時代が変わっても駄菓子を
 手に取る子どもたちの
 笑顔が変わることはない。



吉川理容 吉川 高子さん

人柄が一目でわかる商売道具 やさしさの中に見えた職人魂

四日市水沢地区にはもうひとつ紹介したい場所がある。「吉川理容」看板もなく通り過ぎてしまいそうな店構え。まさに知る人ぞ知る理髪店だ。約4年前、「かへ店」の取材を終えて鈴鹿へ向けて歩みを進めようかと思った矢先、路地を曲がると一軒家にサインポールという景色が飛び込んできた。ちょうど、泊まりがけの2日目の撮影であったこともあり、ヒゲが伸びていた私が顔剃りしてもらえるのではないかとアポ無しで扉を開けたことがきっかけだ。読者もご存じのとおり、我々も番組もまだまだ未熟だった当時も関わらず、突然来た集団に快く応対してくれたのは店主の吉川高子さんだった。その出会いが忘れられず度々、番組の節目にご挨拶に伺っている。番組での愛称は高子ちゃんだ。いつもは、我々が元気と癒しをもらいにお邪魔しているのだが今回は、高子ちゃんの仕事を取材させてもらった。



理容師の商売道具



昔ながらの良い雰囲気の内店に輝く新品同様のハサミの数々。昭和49年、高子ちゃんが理容師になってから使い続けているという大切な道具。「最初はもっと長い髪をさみだした」と語る高子ちゃん。手入れを怠っていたうちにだんだん短くなっていったという。料理人の包丁は聞いたことがあろうが、はさみもそうなるのかと驚いた。どのように手入れをしたらいいのか？を聞いてみると、お店の奥から砥石を出してくれた。これは昭和52年に「ガラス砥石」と呼ばれる高品質のものだ。当時の月収が5000円程度だった若手時代5万円ほどで購入したという。最近では研ぎ師が出張サービスで来てくれるそうだが、以前は自らの手で分解し、若手時代は師匠のはさみも研いで学んでいた。いっお会いしても、やさしい高子ちゃんの中にはしっかりと「職人魂」が宿っていることを改めて感じた。ただひとつ残念なのは、昭和57年に夫の父から店を譲り受け守り続けてきた「吉川理容」は高子ちゃんの代で終わりだという。ご本人はまったく元気がなくなり、地元のお客さんと自分自身が元気がなくなり続けていきた。」と笑顔で語ってくれた。このお店が1日でも長く続き、またお邪魔できることを願うばかりである。

新 名物広報とめぐる

ロープウェイで行こう!

御在所岳の新スポット



行けわか!にとつて外すこと
のできない名所と出合いはな
んと言つても御在所ロープウ
エイ! 読者&番組視聴者はご
存知のとおり、きんが怒つて
一人旅を敢行したことがきつ
かけでこの地と出会つた。御
在所を語る上でかかせない名
物キャラクターといえば、
森豊さん。我々、ビスケット
ブラザーズに話をする間を与
えない心地よいマシンガント
ークが笑いを誘い、番組の節
目節目に登場している。そん

な森さんに
会いに御在
所へ向かつ
たのだが、
この日は会
議があり不
在。森さん
が戻つて来
るまで、
2025年
10月に誕
生した、
新スポット
を案内して
いただくこ
とになつた。

「こんにちは!」第一
声から、森さんに似た
パワーを感じる広報の
佐藤優華さん。ロープ
ウェイに乗車すると1
5分間の空中散歩では
見どころを教えてください
た。私はてっきり新た
な名所が佐藤さん自身
なのでは?と思うぐら
いのトーク術。私の取
材メモのパンも全速力
で走る。全てを紹介す
るにはページ数がとて
も足りないので私が印
象に残ったポイントを
ご紹介。

森さんに負けない
パワフルな新キャラクター広報!



御在所ロープウェイ 広報
佐藤 優華さん



佐藤さんの空中散歩豆知識

日本一の高さを誇るロープウェイ鉄塔
「白鉄塔」はより白く見えるように
少量のグレーが混ざっている。

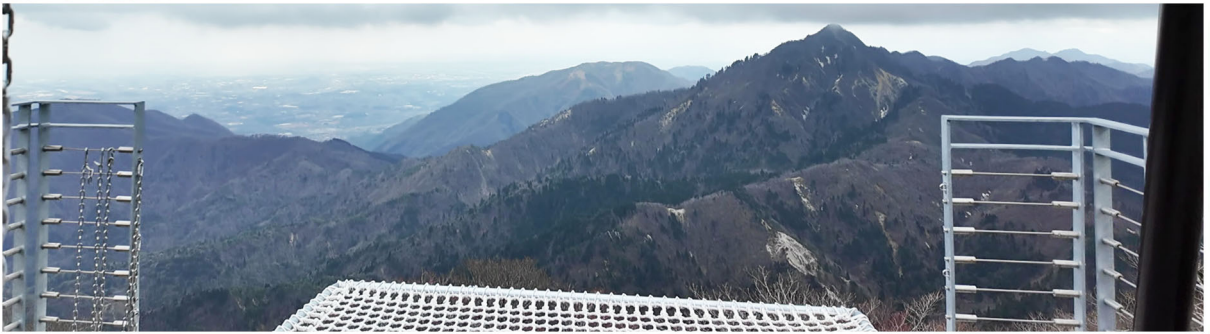


ライター原田 全カメモ

新名所

展望テラス「COCORU(ココル)」

私は遠目から叫んでしまったほど驚いた新スポット展望テラス「COCORU(ココル)」は「COCORU(ココル)」は「お気に入り」を意味するフランス語の「COCO(ココ)」と、日本語の「心躍る」を組み合わせた言葉だという。驚きの理由は断崖に現れたブランコノまるで、あの名作アニメ「アルプスの少女ハイジ」を彷彿とさせる景色。なのだが、私は体重制限100kgをオーバーしており体験できず。代わりにカメラマンさんと室田編集長に乗ってもらった。2人とも非日常を満喫したようだ。



御在所グルメを味わう



名物御在所カレーうどん 1,200円

伊勢うどんの麺にこだわりのスパイス、三重県産豚の角煮が乗った見た目も味も美味しいカレーうどん。タジやスパイスなどそれぞれの味が見事に融合した一品。あまりの美味さに食べ過ぎて当分ブランコに乗れないかもしれない。

ロープウェイ山上公園駅からすぐにある、展望レストランナチュラル。壮大な景色を見ながら食事を楽しめる。



元祖広報 森さんと再会!



カメラマン きん

ライター 原田

御在所岳を楽しみ下山すると、浴衣に和傘をさした森さんが待っていてくれた。第一声は「森ゆかたです。」ギャクもパワーアップし以前よりも若返っていた。この土地がそうさせているのか森さんの個性なのかはわからないが、伊勢神宮到着を報告すると自分のこのように喜んでくれた。そして森さんから佐藤さんについて新たな情報をゲット！御在所では佐藤さんは「何と申ささうゆか！」というキャッチコピーがあるという。もし訪れた際、森さん&佐藤さんの名物コンビに出会えたら迷わず声をかけてほしい。毎回、新たな発見そして出会いをくれる御在所に感謝。